

たかみがおか



磐田市立豊田東小学校 学校だより No.6 令和5年11月13日

学校教育目標 夢をもち たくましく生きる子 (豊田北部小学校と共通)

重点目標 (目指す子ども像) 学びひたる子 自分・仲間を大切にする子 を目指していきます。

「かがやき」ステージ

11月に入って、2週間が過ぎました。子供たちは、持久走記録会に向けて、業間マラソンだけでなく、昼休みにも運動場を進んで走っています。そして、「今日は、〇周走ったよ。」「マラソンカード、〇周までいったよ。」と誇らしげに報告してくれます。毎日こつこつとチャレンジする子供たちの姿は、まさに輝いています。記録会まで、あと半月。自分のめあてに向かって、粘り強く努力し、仲間とともに励まし合い、磨き合いながらやり抜けるよう、支援していきます。



<会礼 校長の話より (一部抜粋) >

今日から11月です。かがやきステージの始まりです。8月、9月、10月はチャレンジステージでした。運動会があり、最後まで「あきらめずに」全力を出し切る姿が見られました。そして、2学期の始業式で話をした「自分で考え、判断し、決定すること」が運動会だけでなく、勉強でも委員会活動や係活動でも見られました。チャレンジすること、自分で考えることは、これからの生活でも大切なことです。さらに、自分を高めていきましょう。

昼の放送で、オレンジ委員会が、「豊田東小のキャラクターを作ろう」と呼び掛けていましたね。磐田市の「しっぺい」や浜松市の出世大名「家康くん」のようなキャラクターを、豊田東小学校でも作りたいと思います。実は、お隣の豊田北部小学校にも「きたまる」というキャラクターがあります。豊田東小学校では、どのようなデザインにするか、オレンジ委員会の6年生とプロのイラストレーターの長谷川さんと話し合いました。デザインのテーマは、「オレンジ」にしました。豊田東小学校の色のオレンジです。皆さんの体操服の色もオレンジですし、校歌でも「オレンジ色の輪になって」と歌われます。そこで、オレンジ色、果物のオレンジをイメージしたキャラクターを作りたいと思います。

皆さんの絵を基にして、プロのイラストレーター長谷川さんにデザインしてもらいます。たくさんの方がデザインを応募してくれたらうれしいです。

今日から「かがやきステージ」です。豊田東小の色、オレンジ色は、太陽の色です。太陽のように、明るく、自分自身を輝かせることのできるステージにしていきたいと思います。

<豊田東小のキャラクターを作ろう>



いよいよ、豊田東小キャラクターを作ることになりました。子供たちは、どんなキャラクターにしようか考えました。昼の放送で、オレンジ委員会の子供たちが、「10月31日（火）の昼休みに、イラストレーターの長谷川さんが、イラスト教室を開いてくれるので、興味のある人は、音楽室に来てください。」と呼び掛けました。すると、次から次に子供たちが集まり、あっという間に音楽室がいっぱい

になりました。そこで、急遽、児童会室や6年生の教室等も開放し、約100人の子供たちが集まりました。子供たちは、思い思いにイラストを描いて、クーピーで色を塗っていきます。イラストレーターの長谷川さんが、「この形、工夫したね。」「ここは、こんな色にするのもいいね。」など、アドバイスをしてくださいました。子供たちも楽しそうにイラストを描き、自分の考えたキャラクターができると、とてもうれしそうでした。

世界に一つだけの豊田東小のすてきなキャラクターがまもなくでき上がります。今からとても楽しみです。



<ボルトボルズによる笑ってタメになるサイエンスショー>



磐田市の「子どもの自由な学びを応援する事業」の一環として、ボルトボルズによる笑ってタメになるサイエンスショーが、10月24日に行われました。ボルトボルズさんによるテンポのいい漫才を融合させた科学実験に、子供たちは、瞳を輝かせながら見入っていました。子供たちの身近にある「空気」や「水」、「静電気」の科学を目の当たりにして、「どうして水の色が茶色から透明になるんだろう。」「静電気で、こんなところにもくっつくんだ。」「空気の輪は、こんな風に回転して移動するんだ。」と、子供たちは、科学の面白さに魅了されました。そして、一つ一つの実験に、子供たちの驚きの歓声が上がりました。

子供たちからは、「自分でも、空気砲を作って、煙がどうなるかやってみたい。」「科学って身近にあって、おもしろいんだなと思った。」など、科学に興味を持つ子が増えました。科学の魅力を知るよい機会となりました。

